

# 後援会だより



平成23年11月5日に行われた桜蓮祭(よさこいサークル)

## C O N T E N T S

- ごあいさつ ..... 2
- 旅立ちの言葉 ..... 2
- 第10回桜蓮祭 ..... 4
- ふれあい実習、オープンキャンパス ..... 6
- 進路状況、連携推進協議会、痴漢に注意 ..... 7
- 平成24年度公開講座、後援会の主な事業、お知らせ ..... 8





## 格別な年 新潟県立看護大学 学長 渡 邊 隆

昨年は、3月の東日本大震災によって、日本全体のバランスがくずれてしまいましたが、この新年になって東日本の人々の力強い復興のエネルギーに呼応するかのように、全国的に日本がよみがえっているように思えます。今年の全国の成人式は、今までとは、全く異なる素晴らしい場面も展開されています。若者が、自分を育ててくれた環境に感謝し、将来を背負っていく覚悟などが多く聞くことができました。明るい将来がみえたようで、とてもうれしい限りでした。

今年度は、平成14年に開学された私たちの看護大学が、丁度10周年を迎えた年でした。これまでに学部生561

名、大学院生21名を送り出しました。この10年間でがん看護と地域看護の二分野で専門看護師(CNS)教育課程が平成20年度に認可されました。この10ヶ年の間にめまぐるしく変化する世界環境で、医療の進歩とともに新しい要求が看護領域にもきております。今後に向けて私たちは大学院の充実や、地域貢献を目指して看護研究交流センターの新しい取り組みをやっていこうと思っています。

厚生労働省の検討委員会では、ますます不足する看護職者の育成を強く訴えています。その委員会の計算によれば、2050年には、最大で19万人の不足が予想されるということです。私たちの看護大学でも、この3月に卒業生を送り出します。しっかりとしたカリキュラムで育った若者がすがすがしい気持ちで社会へ巣立っていただきたいと願っております。社会ニーズもあるなか、人の健康と福祉のための尊い職に就くということの意味を心に刻んでおいていただきたい。どうか、これからの日本を支える一人としての自覚をしっかりともって出発してほしいと願っております。

卒業生の皆様は、これまでお世話になった先生方やご家族の方々に深く、こうして無事に卒業できることにいつも増して感謝することでしょう。こうした気持ちの強いつながりを特別に味わえるのが今年だったのでしょうか。

ご家族の皆様の深いご理解とご支援に感謝しております。

## 24年度【年間カレンダー】

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入学式 後援会総会(4月6日)	ガイダンス(4月4日～10日)	オリエンテーション(4月13日～14日)	1年次生学外	前期授業開始(4月11日)	開学記念日(5月8日)	夏季休業(8月1日～31日)	後期授業開始(10月1日)	大学祭【桜連祭】(11月3日)	冬季休業(12月24日～1月4日)	卒業式(3月15日)	春季休業(3月18日～31日)



## 旅立ちの言葉

新潟県立看護大学看護学部看護学科

### 卒業生代表 関矢 英明

3年続きの豪雪に見舞われ、冬の厳しい寒さの名残が時折感じられるこの3月ではありますが、日に日に暖かさを取り戻し、春の訪れを感じられる頃となりました。高田公園の桜が開花する日が近づくとともに、私たち七期生の上越での学生生活もついに終わりを迎えようとしています。

私たち、新潟県立看護大学看護学部看護学科七期生、94名は、このよき日に、無事に旅立ちの日を迎えることができました。ご来賓の皆様方には大変お忙しい中、ご臨席賜り、誠にありがとうございます。また、渡邊学長をはじめ、諸先生方には、私たち卒業生のために盛大な卒業式を挙行して頂き、卒業生一同大変感謝しております。

大学での4年間を振り返ってみると、とても短かったように感じます。4年前の入学式のことを今でもはっきりと覚えています。親元を離れてのこの上越高田の地での生活や大学生活など、今までとは違った環境での暮らしが待っていることに期待を抱く一方、不安もありました。特に、男子学生の少ない看護学部の環境ですので、学習面や友人関係でうまくやっていけるかととても不安に思っていたことを今でも思い出します。しかし、入学式の当日、入学生控室で一緒になった学生と仲良くなり、いつの間にか、その不安はなくなりました。それから、グループ毎での高田の町並みの散策や、安塚での宿泊オリエンテーションを通して、より友人の輪を広げ、仲を深めることができました。さらに、友人たちと上越

高田の桜を見に行ったこと、学校行事やサークル活動などを通して、同学年の学生だけでなく、先輩方との交流も深めることができました。その時のみんなの楽しそうな様子が写った写真を見るたびに、その場面が思い出されます。

2年生になると、後輩が入学し、委員会活動やサークル活動、学校行事の中心的役割として企画、運営することが多く、その度に変化や辛さを痛感していました。しかし、それらが成功すると、先輩後輩関係なく、みんなで喜び、何事にも変えられない達成感を得ることが出来ました。学習面では、1年生と違い、さらに看護に近づいた授業や演習が始まり、初めての病棟実習も体験しました。継燈式では、初めてのユニフォームに袖を通し、実習に対する期待と不安を感じていたみんなの様子が今でも思い出されます。

3年生になると、5ヶ月間にも及ぶ、領域別実習が始まりました。学生一人一人が実習を通して学ぶ内容はそれぞれで違い、これらを共有することで、看護の奥深さや面白さを感じる事が出来ました。

4年生では、看護研究や国家試験、就職活動など、とても忙しく、あっという間に一年間が過ぎて行ったように感じます。あまりの辛さで、時には逃げ出したくなることもありましたが、しかし、そのような時、相談に乗っていただいた諸先生方や、励ましあった友人たちの存在で乗り越えることが出来ました。こうした辛い経験も最後まで頑張り、乗り越えてきたことは私たちの一生の財産になると思います。

この4年間を振り返ってみると、本当に人との出会いに恵まれていたと思います。特に、この七期生は個性的な人が多く、いつも笑顔であふれていました。時には喧嘩したこともありましたが、最後は笑顔で一緒に時間を過ごしていまし

た。いろんなことがありましたが、それらを一緒に乗り越えてきたこの七期生は最高の仲間だと思っています。今日ここでみんなと一緒に卒業できることはとてもうれしいことなのですが、できればもっと長い時間一緒に笑い、楽しく過ごしたかったということが、正直な気持ちです。そして、私たち七期生を慕ってくれた後輩の皆さん。私たちがこんなに楽しい大学生活を送れたのは皆さんのおかげです。今日で皆さんの成長を見ることが出来なくなるのはとても残念ですが、卒業生一同、皆さんのさらなるご活躍と、この大学を大いに盛り上げていくことを期待して、見守っています。

春からは私たち七期生は、看護師や保健師、助産師として就職する人、あるいは進学する人など、新たな地で新たなそれぞれの道を歩みます。自分の将来に向かって歩み出す七期生の皆さんは、4年前の入学式のように、期待と不安であふれていることと思います。壁にぶつかることもあると思います。そんな時には、四年間をともに過ごしたこの仲間のことを思い出してください。それぞれの道を歩む皆さんを、私たち七期生の仲間が応援しています。決して逃げ出さず、真正面から壁にぶつかっていきましょう。皆さんならきっと乗り越えられるはずですよ。

また、これから私たちは、この大学で得た知識や経験をもとに、幅広い視野を持ち、幅広い対象により卓越した看護を提供できるよう、日々努力し、精進していきたいと思っています。

本日まで私たちに厳しくも温かいご指導をくださいました渡邊学長をはじめとする諸先生方、私たちの学生生活を後押ししてくださった事務職員の方々、毎日温かくおいしい食事や元気を提供してくださった食堂の方々、いつも大学を綺麗にしてくださった清掃員の方々、安全で快適な大学

づくりをしてくださった用務員の方々、実習などでお世話になった関係者の方々など、今まで私たちを様々な形で支えてくださった数えきれないほどの皆様のおかげで私たちはこうして、卒業することが出来ます。重ねて心より御礼申し上げます。そして、どんな時も私たちを見守り、支えてくれた家族の存在があったからこそ、私たちはこの大学に入学し、仲間と出会い、こうしてここまで成長することが出来ました。感謝しきれませんが、本当にありがとうございました。後輩の皆さん、今までの楽しい思い出をありがとうございます。皆さんにはこれから新しい役割や環境が待っています。積極的に挑戦していき、より一層この新潟県立看護大学を盛り上げるとともに、皆さんの成長につなげていってください。そして、七期生の皆さん、私は皆さんと一緒に入学し、この4年間を一緒に過ごし、笑顔でいっぱい思い出を一緒に作り、本日卒業式を迎えられたことを本当に幸せに思います。七期生の皆さんが仲間です。本当に良かったです。この新潟県立看護大学で得たものはかけがえのない宝物であり、今後の支えとなると思います。この大学での4年間や、皆様から頂いたお祝いと励ましの言葉を胸に刻み、本学の七期生としての誇りを持ち、それぞれの新たな道を歩み出すことをここに誓います。

最後に、本日ここに心温まるご祝辞とご臨席頂きました皆様に重ねて御礼申し上げますとともに、後輩の皆様方のご健闘とご活躍を祈り、新潟県立看護大学のより一層の発展を願って旅立ちの言葉とさせていただきます。

平成24年3月16日



# Student Activities On The Campus!!

Campus Life

Check!!

少しでも学生たちの生活を見てみましょう!

エアロビサークル



第10回 the 10th anniversary

## 桜蓮祭

2011年11月5日

ありがとう  
愛里賀十って伝えたくて  
～里を愛し十年を祝う～

2年生 実行委員長 高澤 弥生



桜蓮祭が終わり、いつの間にか少し寒さを感じる季節になりました。10年という大きな節目を迎え、今まで協力してくださった学校の関係者の皆さま、後援会、地域住民の皆さまへの感謝の気持ちを込めて「愛里賀十(ありがとう)って伝えたくて～里を愛し10年を祝う～」をテーマに開催しました。皆さんがより楽しんでいただけるよう、桜蓮祭実行委員全員で毎日試行錯誤していました。煮詰まって辛い時期もありましたが、当日は多くの人々が来て楽しんでいかれて、私自身も楽しく、とても嬉しい気持ちになりました。私は委員長という役目を担いましたが、皆1人1人が考え、力を合わせてできた桜蓮祭でした。さらなる感謝の気持ちをこめて、協力してくださった皆さま、来てくださった皆さま、本当にありがとうございました。

2年生 実行委員 阿部 祥子



今回の桜蓮祭のテーマであった「ありがとう」。私自身この桜蓮祭を通して多くの「ありがとう」を感じ、一生の思い出に残るものとなりました。

今年の桜蓮祭は記念すべき第10回を迎えるということで、「盛り上げたい!何か新しいことをしたい!」という思いが委員全員にありました。その思いが通じ学生企画を始め、ひなたさんのライブやヘアショー等、例年以上に企画を盛り込むことができ、意気込んで準備を始めましたが大変なことも多くありました。しかしそんな時、先生方がアドバイスを下さり、友人も「何か手伝うことはある?」と声をかけてくれました。本当に心強かったです。また見えない所で企画を成功させるために動いて下さった方々。桜蓮祭にいらして下さった方々。全ての方のお力添えのおかげで桜蓮祭を大成功で終えることができたのだと思います。この場を借りて感謝の気持ちを述べたいと思います。本当にありがとうございました。

2年生 実行委員 松本 みのり



今年もたくさんの方々の協力のおかげで無事に桜蓮祭を終えることができました。私は、オリジナルグッズ、ゲスト、ヘアショーを担当しました。その中でも長岡出身のひなたさんのライブは10周年の大きな企画でした。例年にない企画なので悪戦苦闘する場面もありましたが、企業の方に協力して頂き楽しいライブにすることができました。学生が大学内でアーティストのライブを聴くということもめったにないことなので10周年の記念になったのではないかと思います。また、ひなたさんのファンの方々から県外から大学まで足を運んで頂いた事も大学のことや、桜蓮祭を知ってもらう機会になり良かった点だと思います。

準備に追われた日々を送り、途中苦戦した部分もありましたが、終わってみると全てが良い思い出です。多くの学生が積極的に学祭に参加し、それぞれが思い出に残る学祭になったと思います。私も企画側として歴史ある桜蓮祭に関わる事が出来て、学生生活の素敵な思い出ができました。今年の桜蓮祭のテーマの愛里賀十(ありがとう)には里を愛し、十周年を祝うという意味が込められていたのですがテーマに沿った良い桜蓮祭になったのではないかと思います。

10周年スペシャルゲスト  
“ひなた”ライブ!!!



ダンスサークル



4年生企画 ハカレンジャー



新企画 ヘアショー



ふれあいコミュニケーションサークル



4年生企画 -NCN48 22歳じゃだめですか?



よさこいサークル



合唱サークル



# ふれあい実習

平成23年度は本学開学十周年の年でした。開学初年度から実施された「ふれあい実習」も十歳のバースデーを迎えたということです。「ふれあい実習」が科目として設置された経緯、その後の経過と教員の試行錯誤については、折に触れ記してきたとおりです。この十年のうちには「高校や中学の総合学習とどこがちがうのか」そんな厳しい意見が担当教員の中から寄せられることもあったのです。しかし、十年後の今、わたしどもは、「ふれあい実習」を、学生がほんらいもっている柔軟な思考や未知の状況への適応力にかれら自身が気づき、みずから引き出していく契機になりうると感じるようになりました。科学的な知識や高度な技術というのは、医療の分野ですぐさま更新され、あっというまに常態化・陳腐化してしまいます。ですから、養成機関では、看護実践に直結する専門科目を充実させてスタートからの底上げをはかるとともに、科学や技術、医療現場の変化に対応できる足腰の強さを身につける場の提供も必要でしょう。学生たちは3年次の領域別実習で鍛え上げられ卒業の日を迎えます。その大切な実習でじゅうぶんな力を発揮できるよう下地をつくる実習、「実習力をつける実習」の役割を「ふれあい実習」が果たし、実践者としての足腰の強さを身につける手がかり足がかりにしてほしい、そのように、わたしたち教員は望みます。(徐淑子)



## ふれあい実習を終えて 1年 荻原翔子

私達の班は安塚で実習を行いました。この実習で、私は安塚の魅力と多くの問題に直面している現状を知りました。中でも、高齢化が進んでいるにも関わらず訪問診療がないことや、過疎化で路線バスが廃止になり町場の医院や商店へ行きづらいたことが深刻だと感じました。しかし、車を乗り合わせて一緒に出掛けたり、冬の大雪の際にはお年寄りの家の雪かきをしたりと、近所同士で声を掛け合い、人々が助け合って暮らしていました。

このような現状を知り、私にできることは限られているかもしれませんが、将来医療に携わる者として自分には何ができるのかを考え、これからの看護活動に繋げていきたいと思います。

## オープンキャンパス

平成23年8月3日、23日にオープンキャンパスが行われ、昨年よりも90名ほど多い延べ394名の方が参加されました。

看護に関する体験演習、本学学生との懇談、学長室訪問などを行い、盛況裏に終えることができました。

参加者からは、「とても感動した。ぜひこの大学に進学したいと思った。大切なことは勉強だけでなく自分の人生をどれだけ充実することができるかも大切なことなのだと気づかされました。」「入学してみなければわからない在学生の体験や、思いを聞くことができてよかった。」などの意見が多く寄せられました。



学長室訪問



母性看護学体験演習

## 平成23年度卒業生 進路状況 (平成24年3月16日現在)

### ◇ 男女別進路状況

	県内就職	県外就職	進学	その他	計
女子	49名	31名	4名	1名	85名
男子	8名	1名			9名
計	57名	32名	4名	1名	94名

### ◇ 出身地別進路状況

就職・進学先	出身地	看護師	保健師	助産師	養護助教諭	進学	その他	計
県内	県内出身	47名	4名	2名	1名	4名		58名
	県外出身	3名						3名
県外	県内出身	13名						13名
	県外出身	15名	2名	2名			1名	20名
計		78名	6名	4名	1名	4名	1名	94名

### ◇ 都道府県別就職状況

就職先	県内出身者	県外出身者	計
新潟県	54名	3名	57名
神奈川県	1名	7名	8名
群馬県		2名	2名
埼玉県	1名		1名
東京都	5名	4名	9名
栃木県		1名	1名
富山県		3名	3名
長野県		6名	6名
宮城県		1名	1名
山形県		1名	1名
計	61名	28名	89名

## 「上越教育大学と 新潟県立看護大学との連携推進協議会」を 開催しました。

平成23年12月6日(火) 本学の大会議室において、協議会を開催しました。本協議会は、平成22年7月に両大学で締結した「包括的な連携・協力に関する協定書」に基づいて、両大学における学術情報の相互利用、学生・教職員の交流などの事業を積極的かつ円滑に実施するために設置されました。

本学渡邊学長のあいさつの後、中野副学長の進行のもと、平成23年度の連携・協力に関する状況や、平成24年度の連携・協力に関する計画案などについて、活発な協議等が行われました。



## 痴漢・不審者・ 下着盗難多発!



ここ最近、上越市内において痴漢、不審者、下着盗難等の被害が多発しております。本学でも学内掲示板による注意喚起を行っておりますが、改めて再確認をお願いします。

### 不法侵入に遭わないために

- 被害は意外に2・3階が多い。
- 必ず施錠、ドアチェーンをする。
- 夜間、留守中も窓は施錠する。
- 見知らぬ者に安易にドアを開けない。

### 不審者に遭わないために

- 夜遅くに暗い道を一人で歩かない。

### 下着盗難に遭わないために

- 夜間、留守中は部屋に取り入れる。

被害に遭ったり、不審者を目撃した場合は  
警察(110番)に通報してください!

パトロールが強化されます

なお、犯罪被害等に係る相談は上越警察署(TEL025-521-0110)か、最寄りの警察署へ

## 平成24年度

## 看護研究交流センター 公開講座一覧(受講料無料)

新潟県立看護大学内にある看護研究交流センターでは、下記の講座を実施する予定です。どなたでも参加できますので、皆様ふるってご参加ください。会場は全て新潟県立看護大学となります。

日 時	テーマ	対象	事前申込	事業名
5月10日(木) 18:30~19:30	地域リハビリテーションの 一環としての在宅療養	一般市民	不要	いきいきサロン
6月9日(土) 16:00~17:30	わかりやすい倫理 ―日常に潜む倫理的ジレンマを解決するために―	医療・福祉職	要	どこでもカレッジ
6月19日(火) 18:30~19:30	自分の親が認知症?と思ったら	一般市民	不要	いきいきサロン
7月7日(土)	災害看護―今からできること―	医療・福祉職	要	どこでもカレッジ
7月11日(水) 18:30~19:30	大切な人のための禁煙サポート ―家族みんなで禁煙チャレンジ―	一般市民	不要	いきいきサロン
7月21日(土) 13:00~15:00	保健医療福祉連携教育について ―新潟医療福祉大学の10年間の経験から―	一般市民	要	上教大・看護大連携 公開講座
8月4日(土) 13:00~15:00	あったか地域の大家族 ―富山型デイサービスの19年―	一般市民	要	市民公開講座
8月10日(金) 18:30~19:30	自分でつくる・自分でまもる健康ライフ	一般市民	不要	いきいきサロン
9月11日(火) 10:00~16:10	看護情報処理セミナー	看護師	要	どこでもカレッジ
9月12日(水) 10:00~15:30				
9月13日(木) 18:00~19:00	迫りくる認知症に備える	一般市民	不要	いきいきサロン
9月15日(土) 13:00~16:00	高度実践看護師の養成教育と活動の展望	医療・福祉職	要	どこでもカレッジ
9月18日(火) 10:00~16:00	院内研究発表入門	看護師	要	どこでもカレッジ
9月19日(水) 10:00~16:00	院内マニュアル作成入門	看護師	要	どこでもカレッジ

※ 公開講座は随時さまざまな企画が追加されています。大学ホームページ、広報誌などで随時公開しています。

【申込先】新潟県立看護大学 看護研究交流センター（新潟県立看護大学内） TEL&FAX 025-526-2822

E-mail kyoumu@niigata-cn.ac.jp 〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地

## 後援会の主な事業

## ◆ 会員相互及び大学との連携

総会を年1回、入学式当日に行い、毎年度の事業計画を決定します。  
年2回、「後援会だより」を発行し、学内での学生活動などを紹介しています。

## ◆ 学生自主活動推進事業

学生が自主的に運営している自治会、桜蓮祭(大学祭)、継燈式、球技大会への助成を行います。

## ◆ 学生教育振興事業

1年次に購入する実習衣、実習に伴う雑費を補助します。

## ◆ 学生福祉増進事業

学生食堂の受託経営者及び自動販売機設置業者に対し、光熱水費を補助することにより、食事及び清涼飲料水等を低価格で学生に提供しています。

学外オリエンテーションの費用の一部を補助します。

## お知らせ

平成24年度  
新潟県立看護大学  
後援会総会

平成24年4月6日(金)  
入学式終了後  
11:30~12:10  
本学ホール



新潟県立看護大学  
Niigata College of Nursing

看護学部 看護学科

問い合わせ先／〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地  
新潟県立看護大学 教務学生課  
TEL 025-526-2811 FAX 025-526-2815  
E-mail togaku@niigata-cn.ac.jp